

目指す児童像 自ら学び、自ら考える児童

①自分がもつ「知識」を使って
初めて出会う事象を解釈できる。

②新たに獲得した知識をもとに、
これまでの知識を解釈し直す。

日 時 令和7年7月16日(水)

第5校時 13:00~13:45

第3学年2組 国語科指導案
第3学年3組

場 所 第3学年2組 教室

第3学年3組 教室

対 象 第3学年2組 31名

第3学年3組 32名

指導者

1 単元名 仕事のくふう、見つけたよ

2 単元目標

- 相手や目的を意識して、身の回りのことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができます。(思・判・表B(1)ア)
- 改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つことができる。(知・技(1)ウ)
- 段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)
- 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができます。
(思・判・表B(1)ウ)

3 単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
①改行のしかたを理解して、文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。(1)ウ)	①「書くこと」において、相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたことを明確にしている。 (B(1)ア)	①進んで相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって調べたことを報告する文章を書こうとしている。
②段落の役割を理解している。(1)カ)	②「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	②文章に対する感想や意見を伝え合うことを通して、自分や友達の文章のよいところを見つけようとしている。(B(1)オ)

4 学習指導要領上の扱い (P101)

B 書くこと

(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。
- イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。
- ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。

オ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。

(2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。

5 研究主題との関連

【本単元で目指す児童像】

- 相手や目的を意識し、よりよい文章になるように伝えたいことの書き表し方を工夫できる。
- 必要に応じて友達と相談することで、自分の考えや文章を見直し、よりよくしようとする。
- 自分の文章のよいところ（または改善すべきところ）に気付き、次の学習への意欲を高めることができる。



【単元を通しての指導の工夫（教師の手立て）】

- ①相手や目的意識だけでなく、調べる視点も子どもたちと合意形成する。【学習の見通し】

→第1時で交流学年の5年生が興味ある仕事についても提示することで、「仕事について詳しく調べて分かりやすく伝えたい！」という強い思いをもたせることで、今後の学習活動の原動力としたい。また、1次だけでなく単元を通して読み手や「何のために書いているのか」について常に意識して学習活動を進めていく。

→第2時で「お仕事しようかいポイント」として、相手にどんなことを伝えたら分かりやすいかを子どもたちに考えさせ、教師が視点を整理する。単元を通して、常に意識させることで子どもが視点を明確にもって調べたり文章を書いたりすることにつながり、子ども一人一人の探究的な活動を支える基盤となると考える。

- ②報告文の書き方についてよりよい方法を考える。【自己選択】【他者との協働】

→調べ学習を進める上で、どのように書けばよいか迷う児童がいる。同じ仕事を選んだ人同士で相談したり、掲示物等で既習事項を振り返りやすくしたりすると共に、まとめ方を選べるようにすることで、意欲をもち、安心して学習を進められるようにしていく。

- ③既習をもとにした視点をもとに友達の報告文を読み、よいところを見つけさせる。

→友達の報告文を読むときに、漫然とよいと言う児童がいる。第2時で合意形成した「お仕事しようかいポイント」や第7時で学習した「文章の組み立てや書き方のポイント」を読み合う視点とし、よさを見つけさせる。これにより、具体的によいところを見つけられるだけでなく、今までの学習の積み重ねを自分の成果として実感しやすくなると考える。

【単元を通して獲得させたい知識】

次	獲得させたい知識
（第1時～第2時） 1次	<p>《獲得させたい知識（方法）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標（ゴール設定）を達成するために、必要な手順などを考える。（第1時） ・自分だけでは解決が難しい問題に出会った時に、友達に相談したり話し合ったりすることで解決しようとする。（第2時）
（第3時～第10時） 2次	<p>《獲得させたい知識（知識）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的を意識して、調べたことの中から書くことを選び、集めた情報を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にする。（第6時） ・自分の考えとそれを支える事実との関係を明確にして、書き表し方を工夫する。（第7時） ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える。（第8・9時） ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整える。（第8・9時） <p>《獲得させたい知識（方法）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習の調べ方やまとめ方をもとに、自分の問題を解決しようとする。（第3時） ・図書資料やインターネット検索から必要な情報のみを読み取って記録をする。（第4・5時）

【時数を生み出すカリキュラムマネジメント】

単元名	教科書通りの時数	実際の実施時数	生み出した時数	TOTAL
社会科 「はたらく人々と わたしたちのくらし」	9 時間	7 時間	+ 2 時間	+ 2 時間
国語科 「仕事のくふう、見つけたよ」	10 時間	10 時間	+ - 0 時間	+ 2 時間

【子供の知識が連続する学習サイクル】

学習過程	教師の手立て（評価）	子供の思考の想定	
問い合わせをもつ・見通しをもつ	<p>【第1時】【ゴールを設定する】</p> <p>①ゴールの設定・導入の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が興味のある仕事を提示し、よく知らない仕事やもっと知りたい仕事について共有し、仕事に対する関心を高めさせる。 (社会科「はたらく人とわたしたちのくらし」との関連) 富士見フレンズの5年生が興味のある仕事について提示し、「5年生にも仕事について知らせたい。」という思いを高めさせる。 <p>●自己と5年生の興味のある仕事が一緒 →詳しく教えたい！</p> <p>●「まだ決まっていない」5年生がいる →興味のある仕事を見つけるきっかけにして欲しい！</p> <p>●自己と5年生の興味のある仕事が違う →違う仕事のよさも知って欲しい！</p>	<p>A :</p> <ul style="list-style-type: none"> 医者になりたい。 	<p>B :</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツインストラクターになりたい。
		<ul style="list-style-type: none"> 5年生と興味のある仕事が一緒だからくわしく調べて教えてい。 	<ul style="list-style-type: none"> 5年生の中には、まだ将来なりたいものが決まっていない人がいるから、紹介したい。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ゴール設定(言語活動) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>5年生に調べた仕事の報告文を読んでもらおう！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学習課題 <p>調べたことの中から伝えたいことをえらんで、 ほうこく文を書こう。</p> </div>		
	<p>②見通しをもつ【学習課題・計画を立てる】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「5年生に調べた仕事の報告文を読んでもらう」というゴールから逆算させる形で学習計画を立てさせる。 児童から考えが出にくそうな内容は教師から提示する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自分が調べたい仕事を決める (2) 「お仕事紹介ポイント」を考える。 (3) 調べ方やまとめ方を決めて、調べ始める。 (4・5) 仕事について調べる。 (6) 調べたことの中から何を伝えるか選ぶ (7) 報告文の組み立てや書き表し方の工夫を確認する。 (8・9) 報告文の組み立てを考えて文章を書く。 (10) 友達と報告文を読み合い、学習を振り返る。 <p>(ゴール) 5年生に調べた仕事の報告文を読んでもらう</p>		

解決方法を考える	<p>【第2時】【調べる仕事や調べる視点を決定する】</p> <p>②見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて5年生や友達が興味のある仕事などを参考にさせて、自分が調べたいと思う仕事を1つ決定させる。 ●「お仕事しようかいポイント」=相手にその仕事についてどんなことを知らせるとよいのか（調べる視点） 同じ仕事を選んだ人同士等で集まり、「お仕事しようかいポイント」を考えさせる。 学級全体で「お仕事しようかいポイント」を整理し、今後の調べ学習の視点とさせる。 <p>【第3時】【調べ方やまとめ方を決定し、調べ始める】</p> <p>③解決方法を考える（自己選択・自己調整・自己決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習で調べてきた方法やまとめ方を参考にして、調べ方やまとめ方を決めさせる。 【知識の想定（方法）】（3年） ●調べ方：図書資料、インターネット検索、インタビュー ●まとめ方：国語「春風をたどって」式 蛇腹折りパンフレット式 手書きで1枚の紙にまとめる パワーポイントでまとめる。 	<p>A：仕事の名前と内容となりたい理由を入れたほうが良い。仕事の内容がないと、読んでいてもその仕事について詳しくなれなさそうだから。</p> <p>A：たくさんの情報が載っているインターネットで調べたい。</p> <p>A：パワーポイントでまとめたい。</p>	<p>B：仕事のくふうや楽しいところ、どのようにしたらなれるかを調べたい。その仕事のよさを報告文に入れれば、読んでいるうちに「この仕事いいな。」って思ってくれそうだから。</p> <p>B：知りたいことが分かりやすくまとまっているから本で調べたい。</p> <p>B：「春風をたどって」の時のたどってブックのような形にしたい。</p>

<p>【第4・5時】【仕事について調べる】</p> <p>④子供が選択した方法で解決する場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2時で決めた「お仕事しようかいポイント」をもとに、各自調べさせる。必要に応じて、同じ仕事同士等で相談しながら進める。 <p>【第6時】【調べたことの中から何を伝えるか選ぶ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的を意識させ、調べたことの中から伝えたい内容を選択させる。 ・同じ仕事同士や他の仕事の人と意見交流をさせて、自分の考えを見直させる。 <p>【第7時】【報告文の組み立てや書き表し方の工夫を確認する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エラー文（言葉や表現が足りない文）と手本文を比較させ、相手に分かりやすい報告文の組み立てや書き表し方の工夫について理解させる。 <p>【組み立てや書き表し方のポイント】</p> <p>※(知識の想定を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●句読点の打ち方、「」の使い方（1年） ●まとまりごとに段落を分けること（2年） ●段落の意味、初め・中・終わりの構成（3年） ●引用（●中点、ダッシュ）（3年） ●事実と考えの区別 ●小見出し ●難しい言葉を簡単な言葉への言い換え ●実際に働いている人のエピソードなど、読み手の関心を高める内容 ●考えたことが具体的に書いてある ・グループで組み立てや書き表し方の工夫を見つけてさせ、学級全体で要点を整理する。 <p>【第8・9時】【報告文の組み立てを考え、文章を書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で確認した報告文の組み立てや書き表し方の工夫、「お仕事しようかいポイント」（第2時）を意識して組み立てを考えさせ、文章を書かせる。 ・必要に応じて、同じ仕事を選んだ人同士等で集まりして相談できるようにする。 	<p>A：「お仕事しようかいポイント」の「どうしたらなれるのか」が調べられなかったから、同じ仕事を選んだ友達に聞いてみよう。</p> <p>A：なりたい仕事が決まっている人もいるから、「どうしたらなれるのか」については報告文に入れたいな。</p> <p>A：「はじめ」「中」「おわり」のまとまりで分けて書くと、読みやすくなると思う。</p> <p>・調べて分かったことと自分の思ったことは分けて書いてある。</p> <p>・本から引用したところは「」をつけて書くと分かりやすい。</p>	<p>B：「お仕事しようかいポイント」の「仕事の楽しいところ」を調べれば、まだなりたい仕事が決まっていない5年生にとっていいと思うから調べよう。</p> <p>B：まだ仕事が決まっていない5年生にとっては、その仕事の内容や、楽しさを伝えた方がいいと思う。</p> <p>B：インターネットで調べると難しい言葉で書いてあったから、相手が分かりやすい言葉に言い換えると読みやすくなる。</p> <p>・実際に働いている人のことや、インタビューがあると読んでいて仕事のイメージがつきやすい。</p>
---	---	--

視点を決めて振り返る	<p>【第10時】【友達と報告文を読み合い、学習を振り返る】</p> <p>⑤自分の学習を見直す場の設定（視点を提示する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と報告文を読み合う際の視点を提示し、友達の報告文に対して感想や意見を伝えさせる。 ・視点を提示し、本単元の学習を振り返らせる。 <p>※【読み合いの視点】と【振り返りの視点】については、「5 本時の展開」参照</p>	<p>A：同じ仕事を選んだ人の報告文を読んだら「調べて分かったこと」の内容が違った。自分が調べなかったことについて書いてあったから詳しくなれてよかったです。</p> <p>・内容のまとめごとに段落を分けていたり、小見出しがついていたりするので分かりやすかったです。</p>	<p>B：自分とは違う仕事の報告文を読んだら新しい発見がたくさんあった。</p> <p>・「考えたこと」が詳しく書いてあって、自分も同じような気持ちになつたから似ていると思った。</p>
	<p>【夏休み中～9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第10時を受けて、自分の文章を加筆修正したい子は夏休み中に行わせる。夏休み明けに5年生に報告文を読んでもらい、感想をもらう予定。 	<p>A：自分と同じ仕事になりたいと思っている5年生の役に立って嬉しい。一生懸命書いてきてよかったです。</p>	<p>B：まだ将来なりたい仕事が決まっていない5年生が、報告文を読んで興味をもってくれて嬉しい。</p>

5 本時の展開（10時間目／10時間）

（1）本時の目標

文章に対する感想や意見を伝え合うことで、自分や友達の文章のよいところを見付けることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

（2）本時の展開

学習過程	○学習活動 C：予想される児童の反応	・ 教師の手立て ◆ 評価【観点】（方法）
視点を決めて振り返る	<p>○めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ほうこく文を読み合い、文章のよさをつたえ合おう。 </div> <p>C：読んだ人が「この仕事いいな」って思って欲しい。 C：自分と同じ仕事を選んだ人が「なりたい」って気持ちを強くしてくれたらいいな。 C：報告文を参考にして、夢や仕事を見つけて欲しいな。</p> <p>○友達と読み合う際の視点を確認する。 【読み合う視点】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「お仕事しようかいポイント」の内容や 「文章の組み立てや書き表し方のポイント」をもとに友だちの文章のよいところをくわしく伝える。 ※「お仕事しようかいポイント」や 「文章の組み立てや書き表し方のポイント」は、指導案末尾の「参考資料」参照。 </div> <p>○友達と報告文を読み合い、感想や意見を伝え合う。</p> <p>C：同じ仕事を選んだ人の報告文を読んだら「調べて分かったこと」の内容が違った。自分が調べなかつたことについて書いてあったから詳しくなれてよかったです。</p> <p>C：内容のまとまりごとに段落を分けていたり、小見出しがついていたりするので分かりやすかったです。</p> <p>C：自分とは違う仕事の報告文を読んだら新しい発見が多くさんあった。</p> <p>C：「考えたこと」が詳しく書いてあって、自分も同じような気持ちになったから似ていると思った。</p> <p>○友達からもらった感想や意見を読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1時で立てた学習計画をもとに、本時のめあてを確認させる。 ・本単元の目的（意義）について振り返らせる。 ・第2時の「お仕事しようかいポイント」や第7時で確認した「文章の組み立てや書き表し方のポイント」をもとに、読み合う際の視点を確認させる。 ・「お仕事しようかいポイント」や「文章の組み立てや書き表し方のポイント」は、掲示して常に児童が確認できるようにする。 ・相手の文章について具体的な感想や意見を伝えている児童を価値付ける。 ・児童の感想や意見の中で本単元の目的（意義）に関連しているものを教師が取り上げ、価値付ける。 ●あまり知らなかった仕事について詳しく知ることができた。 ●その仕事のよさや魅力について更に深めることができた。 ●「将来なりたい！」という気持ちが強くなった。
		8

<p>○本単元での学習を振り返って考えたことを書き、発表する。</p> <p>【振り返りの視点】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して、できるようになったことや自信がついたこと ・学習する前と後で考えが変わったこと ・新しい発見があったこと ・友達のほうこく文を読んで思ったこと ・もっと考えてみたいこと、やってみたいこと 	<p>・振り返りの視点を提示し、書かせる。</p> <p>◆文章に対する感想や意見を伝え合うことで、自分や友達の文章のよいところ（または改善点）を見付けることができ、次の学習への意欲を高めている。</p> <p>【主・態】（発言・記述）</p>
	<p>C：報告文を書くことを通して、調べたことと自分の考えを分けて書くことができるようになった。</p> <p>C：仕事について調べることで、世の中には色々な仕事がたくさんあり、それぞれの仕事のよさがあることを知れて嬉しかった。</p> <p>C：学習する前は、報告文なんて書けないと思っていたけれど、組み立てや書き方のポイントを意識して長い文章が書けてよかったです。</p> <p>C：○○さんが引用を上手に使っていて分かりやすかったから自分も今度文章を書くときに真似をしたい。</p> <p>C：調べたことを文章でまとめることができるようになってきたから、他の教科でも同じような学習の時に活かしてみたい。</p>	

■協議の視点

・本時で提示した「読み合う視点」と「振り返りの視点」は、児童が自分や友達の文章のよいところ（または改善点）に気付き、次の学習への意欲を高めることに有効であったか。

■参考資料

【第2時 「お仕事しようかいポイントを考える】【第7時 報告文の組み立てや書き表し方の工夫を確認する】

お仕事しようかいポイントを考えよう

どんなことをしようかいすれば

自分にも5年生にとっても、読みたくなる文章になるかな??

3-3 お仕事しようかいポイント

仕事の名前	その仕事をえらんだ理由
どんな仕事か（様子）	仕事のくふう
仕事のいいところ	仕事の楽しいところ
どうしたらなれるのか	※インタビューもいいね！

ほうこく文の組み立て・書き方ポイント

組立	内よう	書き方ポイント
はじめ	①調べた理由 ②調べ方	※どうして調べたいと思ったのかくわしく書く
中	③調べて 分かったこと	※「小見出し」をつける（1）（2）…… ※本の題名や他の人の言葉は「」で引用する 「～だそうです。」「～と書いてあって」 ※むずかしい言葉は分かりやすい言葉に言いかえる ※文章の内ようを分かりやすくする写真
おわり	④考えたこと	※自分が思ったことや考えたことをくわしく書く ※5年生に向けた文があるとよい。 ※使った本など（出典）をさいごに書く

○土川さんが書いた、ほうこくする文章



スーパー マーケット の商品 のならべ方 のくふう

土川 りえ

はじめ

1. 調べたきっかけや理由

わたしは、家の人々に買い物をたのまれて、よくスーパー マーケットに行きます。いつも、どのように商品をならべるのかが気になっていました。そこで、商品のならべ方のくふうについて、調べることにしました。

中

2. 調べ方

本を読んでスーパー マーケットについて調べてから、ひかりスーパーの見学をしました。また、店長の木村さんに話をうかがいました。

おわり

3. 調べて分かったこと

(1) せんでんした商品のおき方

「スーパー マーケット の仕事」という本に、「商品は、ちらしてせんでんする」と書いてあったので、まず、そのことについて木村さんに話をうかがいました。



ひかりスーパーでは、ちらしてせんでんした商品の前に、「おすすめ品」と書いたふだを立てて売っているそうです。木村さんは、「おすすめ品は、お客様がよく通る場所に、できるだけ広くおくようにして目立たせます。」とおっしゃっていました。

4. まとめ

スーパー マーケットで何気なく見ていたたなにも、一つ一つくふうがあることを知りました。とくに、おすすめ品を目立たせるために、商品をおく場所や広さを考えていることに、おどろきました。こんど、スーパー マーケットに行くときは、お店の人々のくふうをさがしながら買い物をしたいと思います。

〈使った本〉 今野春道「スーパー マーケット の仕事」〇〇図書、2024年、58ページ

5

10

15

20

25